



川西 明德 議員

質問

# 部活動の意義は

## 教育長

### 学校生活に豊かさをもたらすもの

**質問** いじめ問題の人權救済申し立て、提訴はなぜ発生したか。



教育長 提訴については係争中なのでコメントは差し控えるが、関係者の人生に大きな影響を与えてしまったことは残念だと思っ

る。 今後は教育委員会と学校、地域の連携を一層深め、発生をふせぐ。\*人權救済申し立て、提訴は、奥出雲町教育行政の現場から発生している。どうしてこうなったかの検証は今後のあり方を問うには避けられない課題であると再々訴えてきた。 行政の責任が曖昧な中で、子どもたちは成長している。教育委員会の責任を求める。

**質問** 町民からは、部活そのものを安心・安全に参加できるものに

変えて欲しい、部活が子どもや教職員にとつてすこく苦しいものになっているなどの意見がある。

子どもたちがスポーツや音楽、芸術などに親しみたいと思ったときに、それを実現する場が部活ではないか。 何より子どもたちが健やかに育つために、学校生活全体を通して保障することが大事と考えるがどうか。

教育長 部活動の意義は、学校教育活動の一環だ。 教員の働き方改革は、文科省調査では10年前から倍増し、長時間勤務の要因になっている。部活を負担と感じる教員も多いと報告されている。 部活動の課題を解決する妙案はなかなか見

当たらないが、文科省は部活動関連経費を来年度予算概算要求に盛り込んでいる。

現在町では、県から指導者派遣等を受けており、教員の負担軽減と生徒の技術向上を図っている。

住民の共有財産であり、自治体行政の一環だ。健康で安心して暮らせる自治体づくりの拠点だ。

自治体病院の役割について

本来の設立目的達成のためどう役割を果たすのか。 町長 奥出雲病院は中核病院であり、地域の保健・医療・福祉の拠点としての役割を担っている。 医師確保が喫緊の課題だが、地域住民と患

者に愛され、信頼され喜ばれる医療の提供を目指し、自治体病院の役割を果たすよう努める。



高齢者の尊厳保持と自立支援を

平成27年度介護保険改悪で、「要支援者」の訪問介護・通所介護が保険給付から外され、市町村などが運営する「総合事業」に移行された。 生活援助は家事代行ではなく専門職だ。単に作業として生活援助があるわけではない。

生活援助への介護報酬引き下げは地元自治体への負担を求める「総合事業」にますます拍車がかかる。 高齢者の生活全体を支援し、要介護者の状態を把握したサービス提供で状態維持や改善につなげていく役割が生活援助にはある。

町長 訪問型サービス・通所型サービスは総合事業となったが、町も負担し内容や利用者負担は従来通りで実施している。

